

西郷港ポートキャンパス～ココロとカラダに優しい街区

「海一まち」の街は「船待ち」の場。出会いを待つ希望の空間を導きます

1 ポートキャンパスがめざすもの

「ココロの都市軸」による島の幸福の再定義

島で暮らすということは、毎日海からやってくる新しい出会いに満ちているということ。出会いはわたしたちをワクワクさせ、新しい発見に学び、再会を喜びあえる、人生がかがやく瞬間に最も近いところで暮らすということです。

西郷地区から「西郷港の間口」へ向けた「**海ーまち軸**」は、島での暮らしの幸福を再定義し、再発見するための「**ココロの都市軸**」です。島で育つ人、島を訪れる人、島に還る人を**笑顔で迎ええられる場所になること**がポートキャンパスの目標です。

新しい都市機能を増進し、都市構造を再編する

隠岐の島町立地適正化計画と連携し、ポートキャンパスには**社会教育施設（島の大学）**、**健康増進施設（温浴）**、**サードプレイス**など、新しい都市機能を誘導し、**都市再生の拠点化**を目指します。また**地域公共交通計画との連携**により西郷地区と島内各所を結ぶ**公共交通の持続可能な再編**を計画。またキャンパス内交通の**安全性を向上**させます。



2 キャンパスづくりと人づくり

成果をみんなでもらってあげる、テンポ良い計画

- ⑤ ヒアリング
個々に対話し丁寧に抽出
- ⑦ アンケート
多数の方の意見を反映
- WS 模型を囲んで多世代で話し合い最適解を考えるためのワークショップ
- みんなの意見や

アンケートやワークショップ、
デザインレビューなど様々な方
法を駆使して進めます。

DR

アイデアを共有する
デザインレビュー

事業スケジュール略号

島の大学：歩いて、聞いて、手を動かす
町民目線の学び場づくり

2次審査の提案をするにあたり、**4日間、隠岐の島に訪問**し、多くの方々からご意見を伺いました。高校生ライフスタイルから、若い事業者の皆さんの息吹、産業の構造的な課題、島を訪れる人々の生態など、多くの魅力的なお話を聞くことができました。



「**島の大学**」は、こうして生まれる「人の輪」を広げ、育てながら出来上がっていく場所だと考えています。**デジタル田園都市国家構想、地方創生 SGDs のモデルとして、島外一島内の交流やリモート・イノベーション、一歩進んだ健康増進社会へのチャレンジ**も「島の大学」のミッションになるでしょう。

島内でもすでにこうした動きははじまっています。**大阪大学**
や**神戸大学減災デザインセンターとの連携**によって、**地方創**
生サテライトの設置も予定しています。

[illegible]



天候に左右されず集まれる「船待ちテラス」



西郷の絶景に臨む海水温浴施設



まちの人々の活動の場になる全天候型広場



既存商店と隠岐のうまいもんを一度に楽しめる「あんき横丁」



人々を迎える「出会うの広場」

海一まち軸に開かれた広場でのイベント・大階段・船待ちテラス・海水温浴施設が西郷のまちの顔となります。

3 ポートキャンパスの構成

ポートキャンパスはA: 船待ち交流街区とB: まちなかくつろぎ街区と臨港道路を挟んだターミナル(t)、ジョゲートウェイ(g)、出会うの広場(p)、他港湾施設からなるT:ターミナル街区から構成されます。

A街区とB街区の間の国道を「キャンパス通り」、臨港道路のキャンパス内部分を「ポートアベニュー」とし、**低速化、通り抜け交通を最小化し、安全なキャンパスエリア**とします。沿道には広がった歩道に飲食やお土産などの商店が並び、沿道照明によって**夜も明るく安心な景観**をつくります。

キャンパスの安全・安心

またA街区とB街区、隠岐ポートプラザ(OP)、ターミナル(t)と出会うの広場(p)は**2Fレベルでブリッジで接続されており、悪天候時、災害時でも安全に施設間の移動が可能です。**

A 船待ち交流街区

3F 吹抜けを囲む温浴施設とく島の大学>

海を眺められる温浴施設には**海水温浴エリア(タラソテラピー)**が設置され、町民も観光客もともに楽しめます。また**<島の大学>**では、21世紀型の島内外交流を促し、子どもたちの新しい教育環境をつくる**デジタル田園都市構想**にチャレンジする人々を応援する設備を完備します。

2F 全シーズン型広場と海を望む大階段 こども達の溜まり場「船待ちテラス」

吹抜けから自然光が降り注ぐ**船待ちテラスは全天候型の公共スペース**。イベントなどにも活用できます。冬期は透明のビニールで出来た**防風カーテン**で仕切ること、**寒い海風も防ぎます。**

船待ちテラスには**無料で楽しめる「足湯」**も設置。あったかい気持ちで船が来るのを待つことができます。

こども達の居場所になるライブラリー・児童館を船待ちテラスに配置。西郷中学生・小学生が公共交通機関で来れる交通整備をすることで、西郷地区のこども達にとって家や学校だけではない「**第3の居場所**」(サードプレイス)になります。

水産高校の海洋クラブ・食品クラブなどの活動の場所として、Wifi環境の整ったシェアキッチンとライブラリー、DVD鑑賞、カフェが複合化した場所が西郷地区にあることで、**若者の活動の発信地でもあり、多世代の島民交流の場所**となります。



隠岐水産高校食品クラブ・海洋クラブの活動
引用: 隠岐水産高校HP

A 船待ち交流街区

1F 隠岐の食どころ「あんき横丁」

2F町民広場の下には、**地元の農水産物や食を楽しむフードホール「あんき横丁」**を配置。キャンパスのあらゆる所からアクセスでき、**近隣住民にとっても立ち寄りやすい「港の駅」**です。

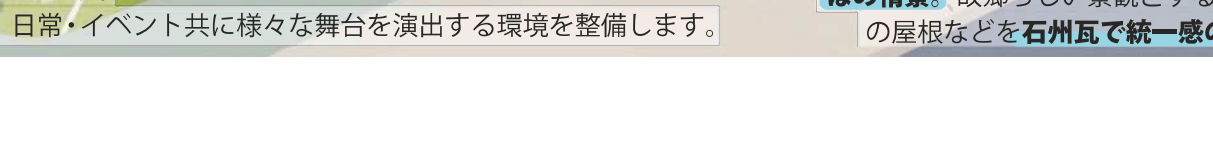
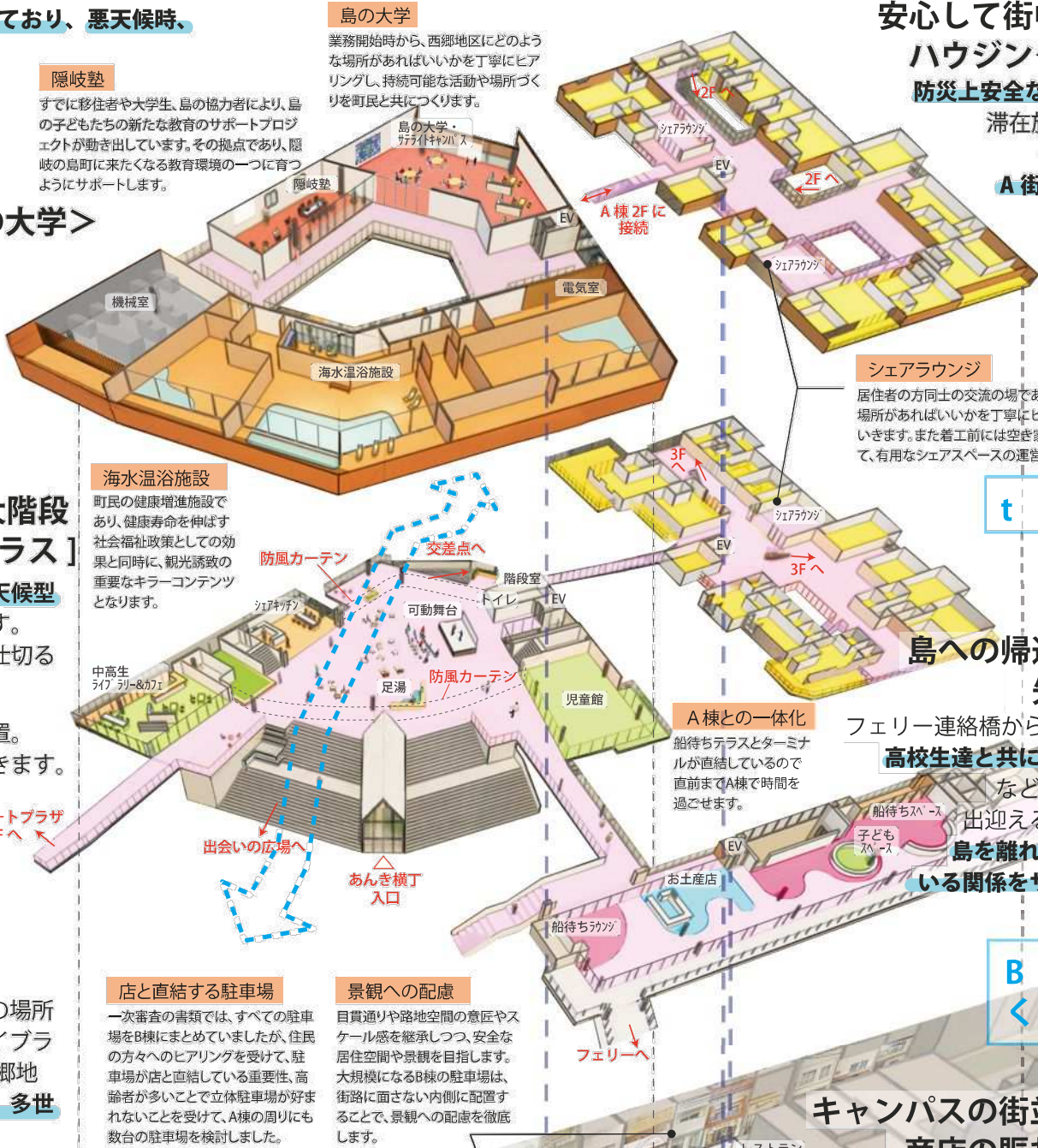
p 出会うの広場

港の健康づくりスポット

イベント時には**屋根下を本部や休憩場所に活用**できます。**土壌や風土・潮風に強い樹種を採用することで、日常・イベント共に様々な舞台を演出する環境を整備**します。

既存施設と本提案の規模(改訂版)

温水温浴施設	945㎡(新しく整備)	
島の大学	629㎡(新しく整備)	
シェアスペース・サードプレイス	2103㎡(新しく整備)+ターミナル内に96㎡	
学童保育・中高生が利用	292㎡(新しく整備)	
商業(喫茶・食事)	559㎡/10店舗	新しく整備する数 うち8店舗既存(約800㎡)+2店舗
商業(居酒屋・スナック)	539㎡/6店舗	うち4店舗既存(約300㎡)+2店舗
商業(美容)	91㎡/2店舗	うち2店舗既存(約100㎡)
商業(レンタカー)	99㎡/3店舗	うち3店舗既存(約100㎡)(1区画集約)
商業(物販店)	157㎡/2店舗	うち3店舗既存(約300㎡)+ターミナル内に74㎡
商業(産直市)	184㎡/1店舗	うち1店舗既存(約100㎡)+84㎡
居住(ゲストハウス含む)	1490㎡/26世帯	うち17世帯既存(約1500㎡)+9世帯
駐車場/駐輪場	64台/28台	うち52台/28台+駐車12台



B まちなかくつろぎ街区

2F・3F

安心して街中に暮らせる ハウジングと滞在施設

防災上安全な2F以上に住宅と滞在施設を配置します。**生活利便性のあるA街区にもブリッジで往来**することができます。

t ターミナルの改修

2F

島への帰還を出迎える 先輩ラウンジ

フェリー連絡橋からつながる2Fには**高校生達と共にデザインした家具**などで先輩の里帰りを**出迎えるラウンジ**を設置。**島を離れても、つながっている関係をサポートする空間。**

B まちなかくつろぎ街区

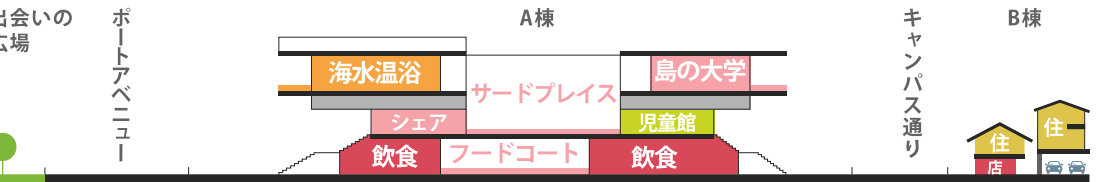
1F

キャンパスの街並みをつくる 商店の賑わいと駐車場

広がった歩道に軽食や喫茶、土産店などが軒を連ねて港の賑わいをつくります。**駐車場は道路側とピロティに分散して配置**。
*一部、既存の商店を残しながら開発を行います。

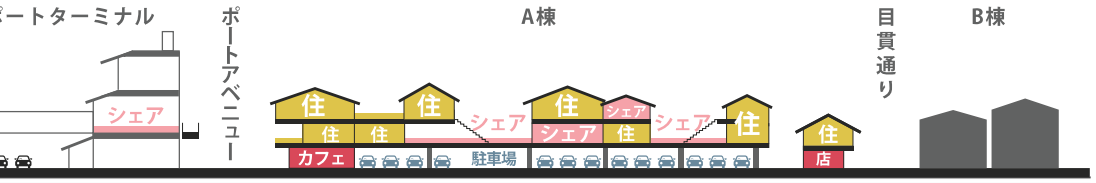
A 船待ち交流街区

断面イメージ



B まちなかくつろぎ街区

長手断面イメージ



路地に一軒家が並ぶ心地よさのある居住滞在空間



全戸に心地よい採光・通風が確保されます。豊かな共用部やシェアラウンジは、滞在者と生活者の交流の場になります。

大きな施設でも、まちを歩く日常を



現状の西郷地区の景観や、目貫通り沿いの景観を踏襲して、1.2階の壁面は商店の大きさに合わせ、居心地よく歩いて楽しい景観を作ります。

広々として気持ちの良いポートキャンパス



12mに幅広されたキャンパス通り沿い歩道や両側のテラスは、しげき廊下などのイベントの際の観客席にもなります。日頃は路面店や商店でにぎわいて人々を迎えます。

「ようこそ」と「またきてね」を伝えるエントランス空間



フェリーから降りた時のワクワク感をつくりながら、少しの間居場所となれる空間をつくります。